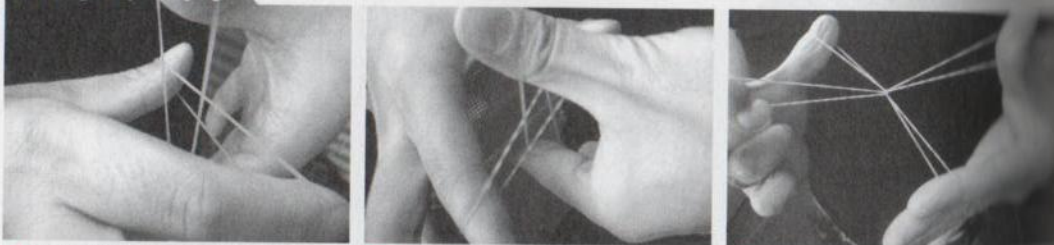


絡まるはずの輪ゴムが離れる

どんなマジック?



1 輪ゴムを、両手の親指と人差し指に引っかけ、クロスさせる

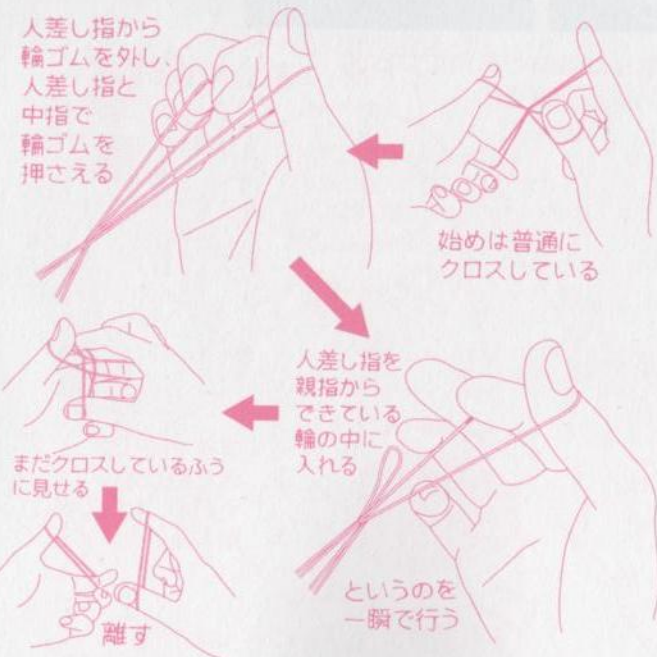
2 押しでもはずれないし

3 引いてもはずれません



4 しかしフッと息を吹きかけると

5 あら不思議



解説 A氏

これはサクラうめんではなからう。輪ゴムが切れるようになっていたりかとも思ったが、それだと元の形に復活しない。さて?

「これは誰にでもできるので覚えておくと思えますよ。小学生向けの手品の本にも載ってるような単純な方法です」

どちらの手でもいいのだが、とりあえず右手を例にとる。イラストと照らし合わせてほしい。

最初にクロスしている段階ではタネも仕掛けもない。普通の輪ゴム2つだ。

しかし「ほら、はずれませんよね」と、グイッと引っ張った瞬間に、人差し指にかかった輪ゴムを、中指で横から押さえつける。そして人差し指は、親指のワッカに潜り込ませる。

この作業を一瞬で行った後、グイッと輪ゴム同士を押し合い、まだはずれていないかのように見せかけ、息を吹きかけてゆっくり引き離す。「ほら、簡単でしょう。グイッと引っ張った瞬間に全部やっちゃうのがポイントです」

試してみたが、そう簡単なものでもない。指がつりそうだ。練習あるのみ。

ラコステのマークが本物のワニに

どんなマジック?



1 セロがラコステショップへ

2 売り物のポロシャツを取り出し

4 本物のワニに

3 ワニマークの上にパンフレットをかざすと



解説 A氏

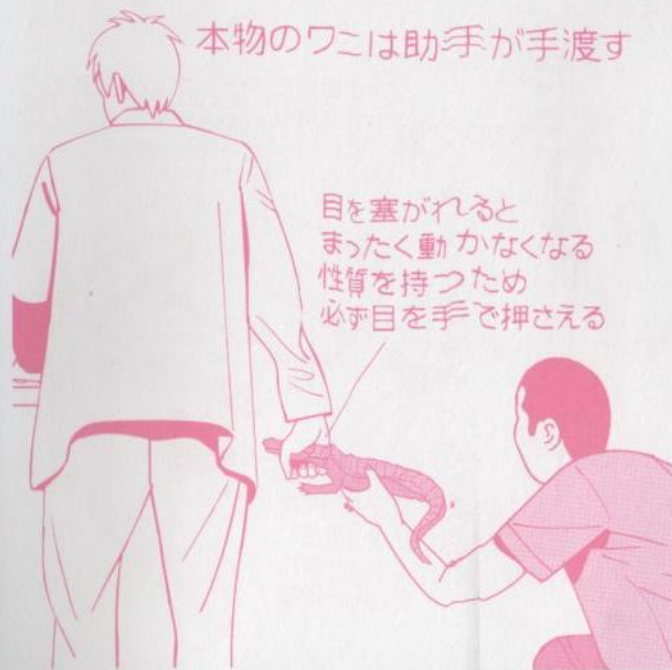
他にもワニマークが動き出したり大きくなったりする前半部分もあるのだが、磁石ややすり替えてゴマかせそうなので割愛する。やはり一番の驚きは、この本物ワニ出現だ。

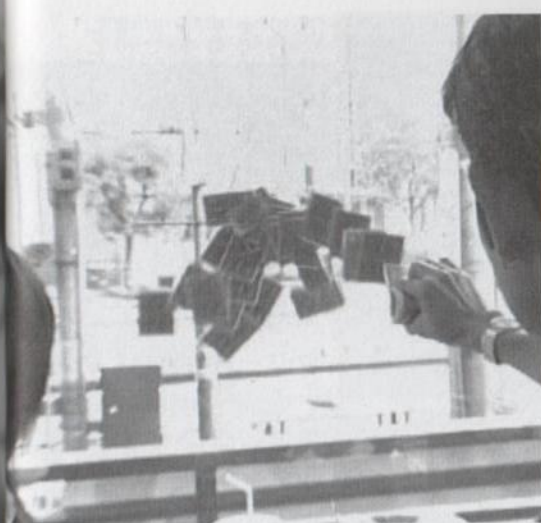
「ビデオ持っている人は見てもらえばわかりますが、セロはパンフレットを2回かざりますね。1回目と2回目の間に一瞬画面から消える。そのときにワニというカトカゲを右手の下に隠し持っています。スタッフが手渡してるんでしょう。鳥と一緒に目を隠すとおとなしいから、すぐには暴れださないですよ」

言うまでもなく周囲はサクラだから、隠し持つの造作ない。「ワニマーク自体はもともとシャツに縫われてないから、いくらかでも隠せますよね。面白いのはこの後、ワニをシャツにくるんで再びマークに戻すシーンがあるんですが、床にワニを放り出したもんだから、後ろのサクラの子が目で追っかけてる。ややサクラの教育がなっていないですね」

本物のワニは助手が手渡す

目を塞がれるとまったく動かなくなる性質を持つため必ず目を手で押さえる





7 女性がトランプの1枚を選び、マジックでサインをしてから元に戻す。セロがシャッフルして窓ガラスに向かって飛ばすと、サインをしたカードだけが窓の裏側に貼り付いてしまう。表ならまだしも、裏ってところがどうにも不思議。(『奇跡のマジシャンセロ』テレビ東京より)

9 トランプから1枚のカードを客が選び、図柄を覚えて元に戻す。シャッフル後、トランプ束を池に投げ込むと、客の選んだカードだけが表向きに浮かぶ。他はすべて裏。(『マジック革命』フジテレビより)

肩の部分は針金なんかでかたどって崩れないようにしてるから、まるで落ちたように錯覚するんですね」

選んだトランプの裏側にだけガラスの7

こいつは本当に謎である。トランプがガラスをすりぬけるわけがない以上、どこかに仕掛けがあるはず。どこだ。

「これはカードスルーウィンドウってマジックです」
まずサインを書いた女性がサクラ。あらかじめもう一枚同じサインのトランプを用意、所定の位置にセッティングしておく。「ちよつとややこしいんですけど、こういう仕掛けになってます(イラスト参照)」

トランプを投げた瞬間スイッチを入れると、上部のカードが落ちてガラス裏面に張り付く仕組みだ。結構チャチな感じだが、表から見ると限りなくわからない。

「穴があくガラスがあるんです。アクリルガラスといって、つなぎめがまったく見えないやつが。水槽はそれでしょうね」
「いつてもここは八景島、そんな仕込みが可能か？」
「運び込んだんですよ。だって水族館にこんな普通の魚の泳いでる水槽なんておかしいじゃないですか。八景島だから水槽に仕掛けはないと思込ませてるだけですね」
つまり、こんなところトリックはないだろうと思わせるために、わざわざ大変なロケに出たわけか。お疲れ様である。

8 水槽の中に腕が

「ダブルバック？」
「そう、両面裏になってるトランプです」
まず客に1枚選ばせるまでは普通のトランプを使い、戻させるのはダブルバックのトランプ束に。その程度のすり替えは、セロレベルのマジシャンなら朝飯前らしい。

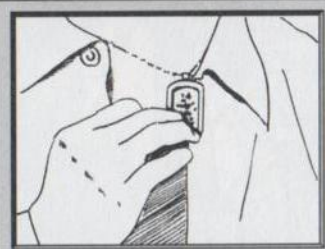
「確率的に2回に1回はそうでしょうね。そのときはやり直して収録すればいいんじゃないですか」
「つまり、周囲の人間、これまたサクラ。なんてこったい。これでオガタも俺もぐっすり眠れるだろう。」
しかし覚えておいてもらいたい。以上はどれもあくまでA氏の推理であって、「100%こうだ！」と確定したわけではない。もしかすると、実はもっととんでもないトリックが隠されているのかも…。」



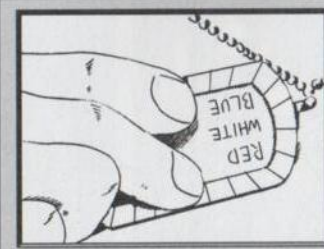
8 八景島シーパラダイス(水族館)を訪れたセロ。とある水槽の壁をハンカチでこすりながら手を押し込むと、水を漏らしながらグイグイ腕が入っていく。(『マジック革命』フジテレビより)

ダーツの点数を予想

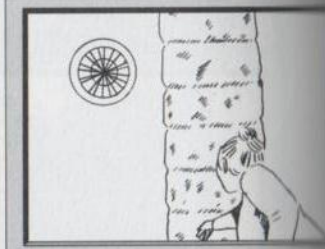
どんなマジック?



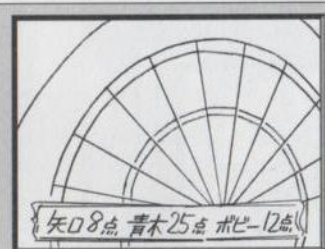
1 セロの胸にペンダント



2 こういう文字が彫ってあります



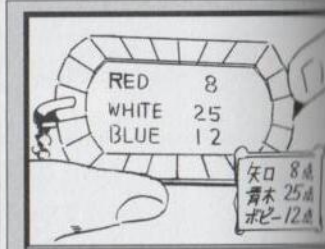
3 ゲスト3人がダーツを投げる



4 矢口8(赤ダーツ)、青木25(白ダーツ)、ポビー12(青ダーツ)



5 この点数を、あらかじめ予想していたとすれば凄くと思いませんか



6 ほら、投げる前から彫ってたんです

ダーツの結果を助手が
舞台裏で刻印する



何気なく岩風の壁に
手をついて喋るセロだが、
その時、壁のスミマから刻印した
プレートを助手が手渡す



ペンダントの背面から
プレートをハメ込む

解説 A氏

仮にゲストがサクラだろうと、狙ったところに投げられるわけがない。したがって刻印されたのは3人が投げた後だ。どうやって? そんな時間なかったぞ。

「3人が投げた後、セロが壁に手をつきながらしゃべってるでしょ(イラスト5)。変だと思いませんか。なんでまっすぐ立たないのかって」

単に体がダルかっただけじゃないの? 「壁の隙間から、刻印したプレートを手渡されてたんです。笑っちゃうでしょ」

つまり3人が投げ終わった後、裏のスタッフがあわてて刻印したってことか。「そう。数字を彫るくらい短時間でできます。ただ、ペンダントそのものじゃなく、プレートだけです。ペンダントの真ん中がプレートのハメ込み式になってるんですよ」

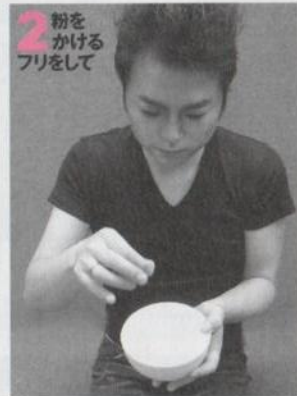
なるほど、ペンダントをつかむときに、隙間から受け取ったプレートをハメ込んだわけか。

お湯がお茶に

どんなマジック?



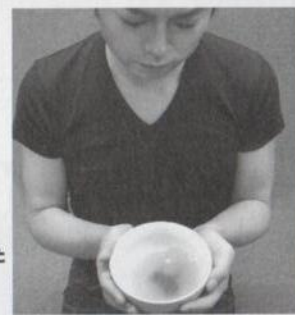
1 茶碗にお湯を注いで



2 粉をかける
フリをして



3 ゆらゆら
振ると



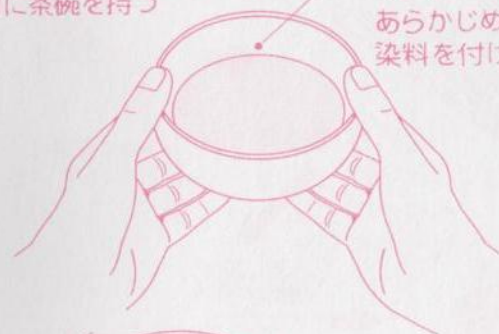
4 お茶に
変わった



5 おいしいです

客には染料が死角になる↓
方向に茶碗を持つ

染料
あらかじめ茶碗に
染料を付けておく



茶碗を振って
水を動かす
その時、水が染料に
触れるようにする



染料が溶け、
水の色が変わる

解説 A氏

実際のテレビ番組では、茶道教室の着物のおばちゃんたちが監視する中でやっている。あんな上品そうなおばちゃんたちはさすがにサクラじゃないかな。

「いえいえ、みんなサクラです。といってもこのマジックではそう重要な役割はないですが、ただ知ってて知らないフリをするくらいで」
タネはアホらしいくらいに単純である。茶碗の壁面(カメラの位置から見えない)に染料を塗っておき、お湯をゆすって溶かしているだけのことだ。

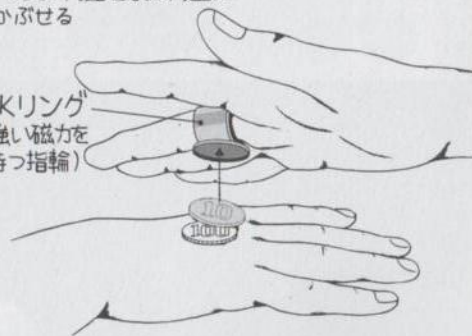
「だから設定がお茶会なんです。茶碗をゆらゆらゆすってもおかしくないから。もちろんこの染料は飲んでも安全ですがお茶の味はしません」

4 通行人の男性に10円と100円を握らせる。指の隙間から10円玉だけを抜き取って、男性の手の甲に置く、その上にセロが手をかざすと、10円玉が一瞬にして100円に。男性が手を開くと100円玉が10円に変わっている。(『奇跡のマジシャンセロ』テレビ東京より)



二セ10円玉を100円玉にかぶせる

PKリング (強い磁力を持つ指輪)



4 10円と100円が入れ替わる

「これは東急ハンズに売ってるんじゃないかな。「スコッチ&ソータ」と「Wエックス」というタネの合わせ技ですね」
まずスコッチ&ソータは、カチッと重なる、サイズの大きいほうのコイン一枚になってしまつて組のコインのこと。今回は10円と100円なので重なる10円になる。
この2枚を男に握らせて、中で重ね合わせれば10円に。これが1つ目の技。

「こいつですよ、こいつ」
A氏が財布から取り出したのは一枚の10円玉。かと思つたら、どこかおかしい。ペラペラのフタのような形をしている。

「これはマジックじゃないです。周囲みんなサクラだし、編み組もしてます」
タネを聞いて泣きそうになつた。セロの腕の裏にホースを通し、指の間からペットボトルに針を刺して水を注入しているだけだというのだ。
「ほら、絶対に腕を動かさないでしよう。裏が見えないようにしてらんでます」
なんもん、周りの人間にはバレバレのはずだが、サクラなら何も問題はない。
ではいつホースを仕込んだのか。そこが編集のトリック。テレビではあたかも一連の流れのように見えるが、スローモーションで見れば、あるタイミングで背景のコンビニ客が急に減っているのがわかる。仕込み場面を編集で削つたのだらう。



先端が注射針になっているホースをペットボトルに刺している



5 セロが、空のミネラルウォーターのボトルを握って振ると、どんどん水が増えていく。(『奇跡のマジシャンセロ』テレビ東京より)



「こいつを100円玉にかぶせるんです。普通の10円玉に見えるでしょう」
男性の甲に置く100円は、手の中から抜き出したように見せているが、実はこの偽装100円玉。手をかざしたときに、例のPKリングの磁力でフタを

くっつけて取り除けば10円に変化したように見える寸法だ。

ペットボトルの水が増える

「これこそマジックじゃないです。周囲みんなサクラだし、編み組もしてます」

「まづ最初のは、靴に仕掛けがあるんです。スキ靴を思い浮かべてください。足の甲からすねの部分まで固くなったやつ。あれがヒザあたりまで続いた靴なんです。これだとそれだけ前傾しても倒れない。この靴は普通に歩けないんです。だから、よろよろしても不自然じゃないようにジイさんに変装してらんでます」
なるほど、確かにジイさんに変装する必要性、他にないもん

「まづ最初のは、靴に仕掛けがあるんです。スキ靴を思い浮かべてください。足の甲からすねの部分まで固くなったやつ。あれがヒザあたりまで続いた靴なんです。これだとそれだけ前傾しても倒れない。この靴は普通に歩けないんです。だから、よろよろしても不自然じゃないようにジイさんに変装してらんでます」
なるほど、確かにジイさんに変装する必要性、他にないもん

6 傾く体&落ちる首

「10年くらい前に欽ちゃんの仮装大賞で、ある女の子が発表したんです。そのネタをヒロなんとかってマジシャンが買って広めたんです」
仮装大賞、そんなとこに元ネタがあったとは、で、仕組みは？
二人羽織になってんのか？
「中ではやがんでるだけですよ。」

コートを支える骨組み

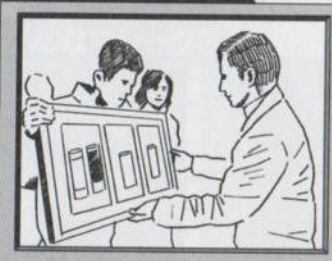


コート内で腰をかかめて顔の位置を下方にずらす

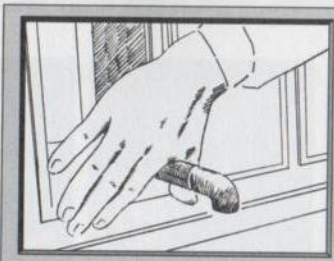
6 ジイさんに扮装したセロがよろよろ歩いて遊園地へ。いきなり体がぐーっと前傾するが、倒れずにまた元へ。さらにこのジイさん、突然首がストンと腹の前あたりまで落ちて周囲をビックリさせる。(『奇跡のマジシャンセロ』テレビ東京より)

メニューから本物のコーヒーが

どんなマジック?



1 路上に、コーヒーのメニュー看板を持ったセロが登場



2 手に持った蛇口をメニューに突き刺す



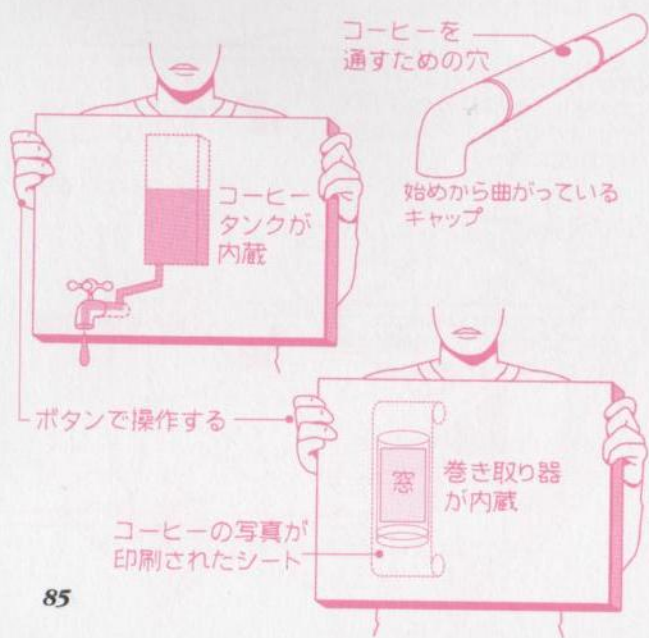
3 近くの女性が蛇口をひねるとコーヒーが出てきた



4 メニュー写真のコーヒーも量が減っている



5 女性が飲んでみる。「おいしいです!」



影で割り箸を割る

どんなマジック?

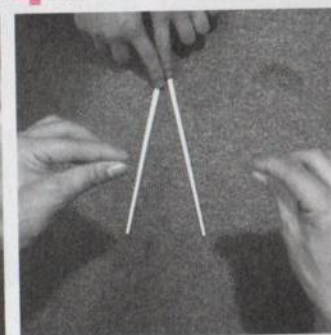
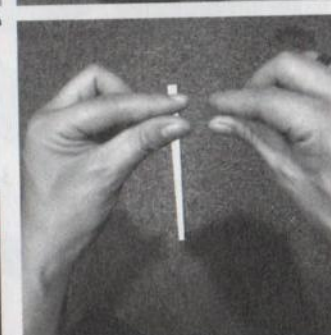


1 とある居酒屋。テーブル上の新しい割り箸に影をかざす

2 影で箸をつまんでスーッとスラすと、袋から出てきた



4 左右に開くとパシッと割れる



3 今度は影で両端をつかんで



解説

影が物をつかむはずがなく、箸に何らかの作用が働いていることは明白である。

「これは細い糸で引っ張ってるだけです。マジック用語で『ジャリ』っていう糸ですね」

ジャリとは、強力なものと2kgの負荷まで耐えられる細い糸のことで、そいつをあらかじめ箸にくっつけておくのだという。てことは、周りの人たちはサクラ?

「定説ですけど、セロがスタジオじゃなくて外で演るマジックは全部サクラを使っています。今回ももちろんそうですね」

マジックを披露する相手がサクラなら、何だってできることになる。視聴者さえタマセばいいのだから。「そうですね、最初の袋から出すやつは、対面に座ってる女性がジャリを引っ張ってるんじゃないかな」

左右2つに割るのは、さすがにスタッフの力があるだろうが、テーブルに座る全員がその存在を知っていることは明らかである。なんて茶番だ。

ちなみにセロの箸割りマジックには、北村総一郎をゲストに迎えたバージョンもあるが、もちろん彼もサクラである。

解説

例のごとく路上マジックである。ただこの場合、通行人がサクラだとしてもコーヒーが出てくる理由にはならない。

「これはマジックというより、仕掛けそのものがしっかり作られていますね」仕掛けとは、このメニュー看板のことである。わずかに厚みを持ったメニューの内部に、あらかじめコーヒータンクが仕込んであるらしい。言われてみれば、ただのメニューのくせに不自然にぶ厚い。つまりは、蛇口の上部に穴が開いていて、差し込めばコーヒーが上部から流入するだけの話だ。いたって単純なのだが、まさかそこまで凝っているとは。

「これ面白いのは、サクラの彼女が間違えて蛇口を右回りに回してるんですね。本来なら左でしょう。つまり本物の蛇口としての役割は果たしてなくて、ただの栓ってことですよ」メニューのコーヒーが減っていくのは、写真シートをズラしているだけだという。

「たぶん電動で動かしてるんでしょう。写真が変化するマジックは、この仕掛けが多いですよ。たいたい、出てきたコーヒーの量と、写真内で減った量が明らかに違うわけて」

ん——、やっぱり凝ってるわ。



アメリカ・ロサンゼルス生まれのフロマジシャン。日本人とモロコシ系フランス人のハーフ。特集番組で披露する、ストリートでの神出鬼没なマジックが有名。

袋から取り出す時

サクラの客

ハシを割る時

ジャリ(極細のヒモ)

セロの影の動きに合わせてジャリを引っ張る

画面に入らないところから助手がジャリを引っ張る

水でカップ麺ができる

どんなマジック?



1 新品のカップヌードルに



2 水をたぶたぶ



3 しばらくすると...



4 出来る!

仕込んだ後、包装し直す



いったん包装を開け、
麵の下に生石灰を仕込む

生石灰

解説 A氏

開封したカップヌードルはちゃんとビニールパッケージされていたし、ペットボトルの中身も水である。普通は熱湯を注いで3分待つんじゃないかって? 「パッケージしてるから新品だって思い込みが間違ってます。こんなの開封してからいくらかでも元に戻せますから」

ふーん、そうなんだ。でも入れたのは明らかに水でしょ? 「生石灰(せいせっかい)って知ってますか、化学記号だとCaOです。あらかじめ麵の下にこいつをしこんでおけば、水(H₂O)と化学反応を起こして90度ほどまで発熱します」

弁当やカップ酒の容器にもこの原理であったものがあるそうだ。「なぜ生石灰だってわかるかっていうと、完成した麵を食べていないからです。これまでセロのマジックで見てきたコーヒーやお茶は最後に必ず本物と証明するために飲んでるのに、生石灰は体に良くないんですよ」

ペットボトルが紙に変化

どんなマジック?



1 ジイさんに扮したセロが、ペットボトルのお茶を飲む



2 右手で握って

4 ぺらぺらの紙に変わりました



3 バンと叩くと...



解説 A氏

「これはマジシャンの間で話題になったんですよ、マジックと言ってしまってもいいものかどうか。テレビじゃなきゃ絶対できないですから、こんなの」

つまり編集? CG?

「そこまでお金のかかるもんじゃない、いいですか、ペットボトルを叩く直前に、左手が画面下に消えますよね(イラスト2)。その際にスタッフが紙を手渡してる」

はあ?

「その紙を右手に叩きつけると同時に、持ってたペットボトルは下に落とすだけ、これはあまりにヒドイですね」

そこまでやるか、セロ。こりゃ話題にもなるわな。



バンバン叩きながら途中で助手から紙のペットボトルを受け取る

叩くと同時に本物のペットボトルは手放す

テレビ画面に映っていない部分



1 町の柱にハンバーガー屋のメニュー看板がかかっている。フレッシュネスバーガーのメニューか、セロが「お腹がすきました」と右上のチーズバーガーの写真に手を伸ばす。ごにょごにょ手を動かすと、本物のチーズバーガーが手の中に現れ、メニューはぼっかり空白に。つまりメニュー写真が本物に変わった格好だ。一口食べてまた元の場所に戻すセロ。ぎゅっっと押し込むと、メニュー写真は一口欠けた状態で復活。集まった人たちは驚きの声を上げている。(「マジック革命」フジテレビより)

1 メニュー看板からハンバーガーが

まず最初はセロの名を世に知らしめたとされるこのマジックから。

看板からハンバーガーが出てくるなんて、えらいこっちゃである。ちゃんと一口食べてるところからも、偽物ではない。いったいどこから現れ、どこへ消えたのか?

しかしA氏に言わせると、「こんなもん、マジックでもなんでもない」そうだ。

「よく見てください。この看板のかかっている壁だけ、手前につ張ってるでしょ」

「そういえばそうですね」

「中に人が入ってるんですよ」

「は?」

「だから元々この場所に柱はなくて、中が空洞の柱をわざわざ持ってきてるんですよ、テレビのスタッフが」

A氏は解説する。

メニュー写真は穴が開く仕掛けになっていて、セロがハンバーガーを抜き取るふりをしてる間に、穴が開き、中の人間が



つま先立ちしている方の足はあまり見えないように立つ



片足はつま先立ちする

2 渋谷スペイン坂。高校生を呼びとめるセロ。「ちょっと見てください」。階段をテクテク下り、後ろ向きになったかと思えば、いきなりセロの体が直立したままわずかに宙に浮く。(「奇跡のマジシャンセロ」テレビ東京より)

押し出して手渡す。

手渡しが終われば、空白シールを貼って、あたかもメニューからハンバーガーが抜け出たように見せる。食べかけのバーガーを戻すときも同様。中の人間に手渡しして、シールを貼るだけ。

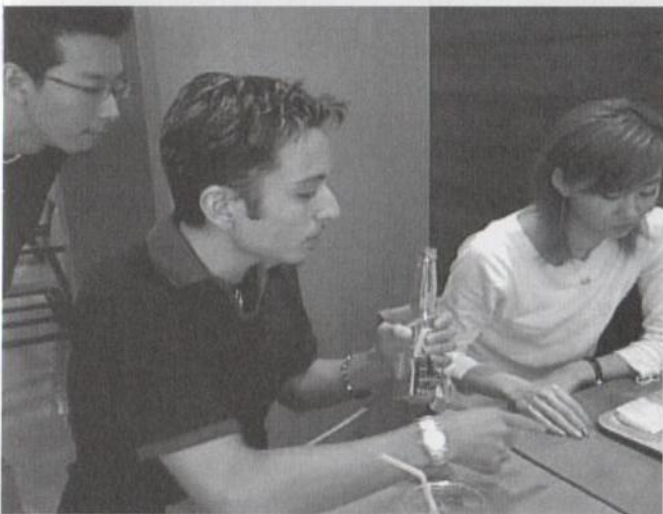
まさかそんな単純な仕掛けだったとは。第二そんな大それたことをすれば、周囲の見物人にバテしてしまうのでは?

「ああ、あれはサクラですよ。セロが屋外でするマジックは、周りの人間ほとんど全員サクラです。あるマジックで魚屋のオヤジだったおっさんが、別のマジックではスーツ着たサラリーマン役で出ましたからね」

シヨックである。サクラがよ。それなら何だかってできてしまうよな…。

2 宙に浮くセロ

上から見えない糸で釣っているとか考えられないが、こんな賑やかな場所にクレール車など乗り込みようがない。はて? A氏の苦笑が止まらない。「こんなの、すぐできますよ。」



ちよっとそこに立ってください」

「はい、足元見てください」

次の瞬間、氏の体は5センチほど宙に浮いた。うわっ、なんでそんな簡単に!

「右のつまさきで立ってるだけです。よ。こんなの前や横から見ればすぐにわかる。斜め後ろから見た人にだけ浮いてるように見えるんですよ」

3 ビンにキャップが入る

大前提として、この女性客も

すげー単純。そうか、だからスペイン坂の階段を使って、上から見せてたんだ。ビデオをよく見れば、セロの右足もやや曲がっている。こんな俺にもできそうやん。

サクラだという。もともと、ビンに仕掛けがあったのだ。

「キャップインボトルといって、最初から中にキャップが入ったビンなんです、手品用の」

サクラが、屋間からビールを飲んでるなんてどうも怪しいと思っただよな。

「セロしてる指輪はPKリングだっていって、すごい強力な磁石なんです。そいつでまずラベ



PKリング(強力な磁力を持つ指輪)



王冠が瓶に入っていると見せかけている時反対側の手のひらの中に王冠を隠す

3 喫茶店に女性客が。テーブルには飲み終えたコロナのビンが1本、おもむろに近づくと「セロ」。ビンのキャップを中に入れてくれますか」女性客がキャップを縦や斜めにしてトライするも入らない。しかしセロがやってみると、中へポロン。さらに中に入ったキャップも、セロがピンを振るとまた外に出てくる。(「奇跡のマジシャンセロ」テレビ東京より)

バンジーしながら、選んだカードを剣に突き刺す

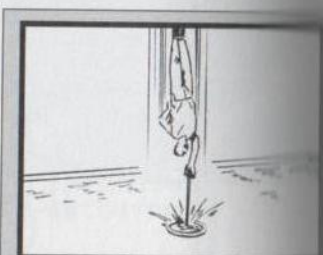
どんなマジック?



1 選んだカードにサインをしてもらい



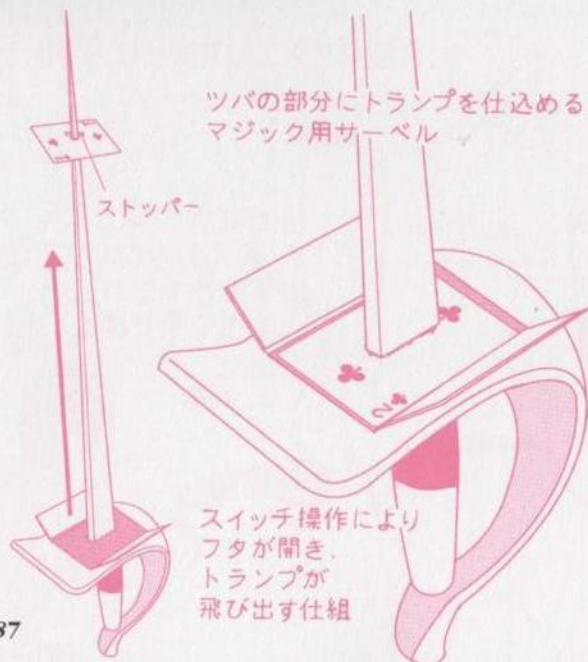
2 トランプ束に戻して、すべてプールの浮き輪の中に、裏向けにバラまかせ



3 バンジーで突き刺す!



4 「このカードですね」



解説 A氏

バンジーしながら正解カードを突き刺すんですけど、仮にカードの場所がわかっていてもほとんど不可能である。水に浮かぶカードをキレイに突き刺すだけでも難しい。「バンジーはこれ際、まったく関係ないです。このパターンは普通、カードの束を放り投げて剣で突き刺すんですが、セロは見せ方に凝るからバンジーにしたんでしょね」

言われてみれば、そのパターンは見たことがあるような。じゃあ、仕掛けは剣にあると?

「そう。まずサインしたカードをなんとかして抜き取る。サクラを使うならあらかじめサインを決めておいて、別の1枚を用意してもいいけれど、今回はたぶんカード束ごとすりかえたんじゃないかな。まあこのぐらいはセロレベルのマジシャンなら簡単です」

かくして抜き取ったサインカードは、剣のツバに仕込まれる。スイッチで飛び出す仕組みだ。後はバンジーで着水した瞬間にスイッチを押すだけ。「剣は柄に進むにつれて太くなってますよね。だからこの仕掛けを使うと、普通に突き刺すよりも穴が大きめに空いてしまうんです。そのあたりをゴマかすために、バンジーのドサクサ感がほしかったのかもしれない」

500円玉がガラステーブルを貫通

どんなマジック?



1 女性客から500円玉を借りる



2 ガラステーブルに500円玉を置き



3 「いいですか」



4 「右手をかぶせます」



5 「両手で挟み」



6 「手を離すと…」



7 500円玉はテーブルを貫通して、下の手の上に

解説 A氏

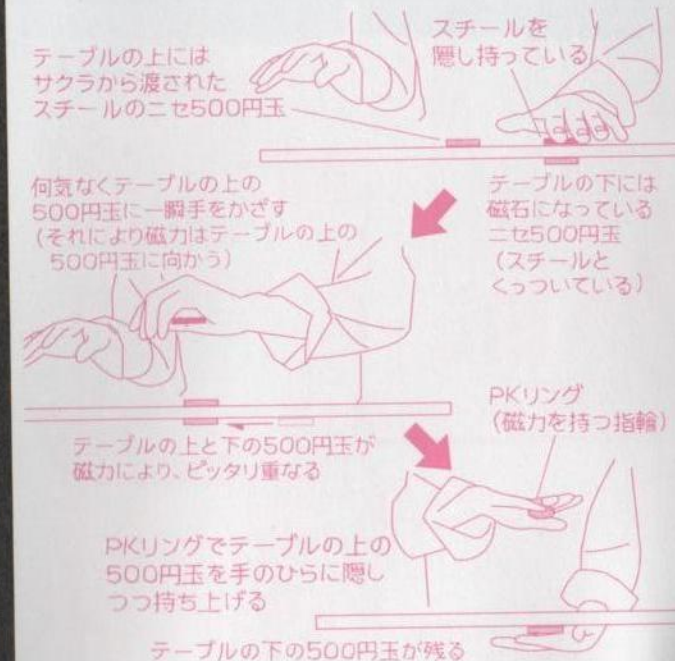
単純だが、素直に驚く。ガラスに穴が開いているのだろうか。あるいは借りた500円玉に仕掛けがあるとか。「これはスティールコインっていう鉄製の500円玉です。だから磁石にすぐくっきます」

少しややこしいが、説明を聞くと実に明快な仕組みだとわかる。まずは借りた500円玉(A)をテーブルに置く。もちろん相手はサクラで、借りるのはあらかじめ渡しておいたスティールコインだ。

このとき左手の下、ガラスを隔てた裏側に、磁石の埋め込まれた別の500円玉(B)が1枚くっついている。ガラスを挟み、左手(鉄を隠し持っている)と磁力で引き合っている状態だ。

この左手をすつとコイン(A)の上にかざした瞬間(写真3)、コイン(B)は左手を離れて、コイン(A)と引っ付きあう。つまり(A)と(B)でガラステーブルをサンドイッチにした状態だ。本当は2枚重なっているのに、上からは1枚しか見えない。

後は簡単。両手で挟みながら、右手の指輪(磁石製)でコイン(A)をくっつけて引き離してしまえば、コイン(B)は下に落ちるしかない。あたかも貫通したように見える仕掛けだ。



PKリングでテーブルの上の500円玉を手のひらに隠し、つつ持ち上げる

テーブルの下の500円玉が残る